

小学5年 適性検査A — 解答と解説

1

問1							
①	工	②	才	③	イ	④	ア
21		22		23		24	

問2		25
1 つ目	【例】子どもが安全に通学できるようにするため。	
2 つ目	【例】道路上に車をとめにくくするため。	26

問3	
①	17.0℃
②	18.1℃
27	28

【例】		問4		29
ア	すずしい	気候		10
イ	あたたかい	気候		10
				30

問5	問6
②	ア
31	32

問7			
写真A	工夫	雨温図	②
写真B	工夫	雨温図	①
写真C	工夫	雨温図	③
33	34	35	36
		37	38

問8		39
1 つ目	【例】車いすの人や小さな子どもがいる人のために、エレベーターが設置されている。	
2 つ目	【例】目の不自由な人が安全に歩けるように、点字ブロックが設置されている。	40

問9			
ア	○	イ	×
41	42	43	44
		45	

【例】										問10									
学	校	や	地	域	の	学	習	会	な	ど	で	障	害	を	か	か	え	る	人
の	立	場	に	立	つ	機	会	を	作	れ	ば	よ	い	と	思	う	。	た	と
え	ば	、	車	い	す	に	乗	っ	た	り	、	目	か	く	し	し	て	町	を
歩	い	た	り	す	る	こ	と	が	考	え	ら	れ	る	。	こ	う	し	た	体
験	に	よ	り	、	相	手	が	望	む	こ	と	や	現	状	の	課	題	を	理
解	し	、	よ	り	多	く	の	人	と	共	有	で	き	る	と	思	う	。	

2

問1	問2	問3
ア	エ	ウ

問4	
記号 ウ	理由【例】横じま模様は回転させても動いているように見えな いので、メダカは水の流れがないと判断したから。

問5	
【例】ゴミが流れているように見えるため、下流に流されないように、模 様の回転とは反対の方向に泳ごうとするから。	

問6	問7	問8
イ	ア	イ

(配点)
①問1、問7、問9、②問1、問4記号……各2点
①問2、問8……各4点
②問4理由、問5……各5点
①問10……7点
他……各3点
計100点

【解 説】

① 資料の読み取りや自分の意見を述べる問題

問1 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報どうしを関連づける力が求められます。

コミュニティ道路の整備前と整備後ではどのようなちがいがあるかを考える問題です。整備前は道路に自動車がとまっていますが、車1台が通れる程のはばがありました。ところが、整備後は道路のはばは、車1台がやっと通れる程せまくなっています。したがって、にはエの「せまく」が当てはまります。また、道路のはばがせまくなっただけでなく、道路の両端に歩道が整備され、歩道のはばが以前より広がっていることが分かります。ですから、にはオの「広く」が当てはまります。は、整備前には道路にあったものが整備後になくなっているとあるので、道路上に駐車されていた、イの「自動車」が当てはまります。このように見ていくと、このコミュニティ道路は歩行者のために整備されたと考えられますから、はアの「歩行者」となります。

問2 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報どうしを関連づける力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

会話文にあるようにこの近くには小学校があることから、小学校に通う子ども(児童)が、安全に通学できるように、歩道のはばを広くしたと考えられます。また、小学校に通う子どもの他に、この道路を通行する歩行者もいますから、歩行者が安全に通行できるように作られたとも言えます。一方、整備後には道路のはばがせまくなったので、自動車は通行しにくくなったと考えられます。この道路に自動車を駐車しようとする、他の車が通行できなくなります。このことから、道路のはばをせまくした目的の一つが、駐車をしにくくすることと考えることができます。このように、あることに対して「なぜそのようになるのか」という視点をもって考えていくことが、探究的な学習活動では重要になります。この問題では、1つ目、2つ目共に①コミュニティ道路が整備された目的について、自分の考えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問3 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報どうしを関連づける力が求められます。

みかんの生産量が多い都道府県と、年平均気温がどのように関係しているのかを考える問題です。りんご、みかんそれぞれの生産量の上位8位までの都道府県の年平均気温を調べていくと、りんごの生産地の年平均気温は9.3℃以上15.6℃以下の間に入り、みかんの生産地の年平均気温は17.0℃以上18.1℃以下の間に入っていることがわかります。よって、には17.0、には18.1が当てはまります。

徴^{ちよう}を見くら^{くら}べ、最もふさわしい雨温図を選びます。すると、写真Aは工夫ウ、雨温図②、写真Bは工夫イ、雨温図①、写真Cは工夫ア、雨温図③とわかります。

問8 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、^{こんきよ}根拠に基づき正しく判断する力、自分の考えを^{すじみち}筋道立てて表現する力が求められます。

駅のバリアフリー設備^{せつび}について考える問題です。鉄道の駅はさまざまな人が利用する施設^しなので、利用者のために考えられた工夫が多く見られます。まず、ほとんどの駅で見ることができるようになったのが「エレベーター」です。もともとは車いすやベビーカーを利用する人のために^{もう}設けられたものですが、今では^{だれ}誰もが利用するようになりました。また、プラットホームにタイルのようなものが^{なら}並べられていますが、これは目の不自由な人が^{はくじよう}白杖(白いつえ)などを使って安全に歩行できるように用意されている「点字ブロック」です。この他に、目の不自由な人などがホームから落ちてしまわないように電車とホームとの間に設けられた「ホームドア」や、日本語が^{りかい}理解しにくい人のために駅名がローマ字で示されているなどの工夫が見られます。この問題では、1つ目、2つ目共に①バリアフリーの工夫、その工夫がどのような人のためのものであるかが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問9 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、対象を比較する力、根拠に基づき正しく判断する力が求められます。

図11の表から読み取れることを考える問題です。ア～オの1つずつを表と^て照らし合わせて考えていきます。

ア：19歳^{さい}以下の「無回答」の人数は3人と、各年齢^{ねんれい}で最も少ないです。しかし、割合^{わりあい}は7.5%と、各年齢で最も高くなっています。よって、正しいと言えます。

イ：「テレビコマーシャル」の全体の割合は47.2%、「19歳以下」が60.0%、20代が55.6%、50代が47.8%です。全体の割合を上回っている年代は4つではなく3つです。よって、正しいとは言えません。

ウ：「ホームページなどでの^{じようほうていきよう}情報提供」の20代の割合は37.4%、70歳以上は6.4%で、その差は31.0%です。その他の方法と^{くら}比べて最も高くなっています。よって、正しいと言えます。

エ：「^{ちいき}地域の住民向けの学習会など」の60代の割合が35.6%、70歳以上が42.3%と他の年齢よりも高くなっています。また、「都や市町村などが行うイベントや^{しりよう}資料の作成」の60代の割合が22.1%、70歳以上が23.1%と、同様に他の年齢よりも高くなっています。よって、正しいと言えます。

オ：年齢別の割合を比べると、「鉄道車内の広告」は、ほとんどの年齢で「^{ざっし}新聞雑誌の広告」を上回っていますが、70歳以上は「新聞雑誌の広告」が19.2%、「鉄道車内の広告」が10.3%と下回っています。よって、正しいとは言えません。

問10 **C1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報どうしを関連づける力、推論する力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

「心のバリアフリー」を進めていく上で、具体的にどのようなことをすると効果があるかを理由と共に答えます。図11に挙げられた方法を参考にして、具体的にすることを考えてもかまいませんし、自分でこうしたらよいと思うことを想像して書いてもかまいません。たとえば、図11にある「学校での子どもへの教育」や「地域の住民向けの学習会など」で、障害をかかえる人の立場を体験する機会を持つことが考えられます。たとえば、実際に車いすに乗ったり、目かくしをして外を歩いたりすることなどが挙げられます。このような機会を通じて、障害をかかえる人の気持ちに寄りそったり、バリアフリーの課題を見つけたりすることができるかもしれません。また、テレビコマーシャルやホームページなどを通じて、「心のバリアフリー」の具体的な取り組みを伝えることも考えられます。具体的な取り組み内容がわかれば、それに共感する人が出てくるかもしれません。自分の考えを字数に応じて表現する工夫をしてみてもよいと思います。この問題では、①「心のバリアフリー」を進めていくための具体的な方法が書かれているかどうか、②①が効果的である理由が書かれているか、③①、②に過不足がないかどうか、④表現や表記に誤りがないかどうかを中心にしています。

② メダカの実験に関する問題

問1 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を活用する力が求められます。

速い水の流れによって下流に流されると、上流の方を向いているメダカからは、水の中で静止しているはずのくいや水草は前方に動いているように見えます。よって、下流に流されないようにするためには、川の流れにさからって、前方に向かって泳ぐことが考えられます。

問2 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力が求められます。

水の流れが時計回りのとき、メダカの泳ぐ方向は反時計回りです。水の流れが反時計回りのとき、メダカの泳ぐ方向は時計回りです。よって、メダカは水の流れに逆らって泳ぐと言えます。

問3 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力が求められます。

白黒のたてじま模様の回転が時計回りのとき、メダカの泳ぐ方向は時計回りです。白黒のたてじま模様の回転が反時計回りのとき、メダカの泳ぐ方向は反時計回りです。よって、メダカは白黒のたてじま模様を回転させた方向に泳ぐと言えます。このように、メダカは川ではくいや水草などを、【実験2】では白黒のたてじま模様を追いかけるようにして移動すると考えられます。

問4 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、推論する力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

白黒の横じま模様の場合は、回転しても模様が動くようには見えないので、メダカは回転に反応せず、それとは関係なくあらゆる方向に泳ぐと考えられます。しま模様に変化して動きが感じられるものでない場合、メダカは流されているとは感じないので反応しないことが考えられます。この問題では、①理由を正しく説明しているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問5 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、推論する力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

川に流れる小さなゴミに見立てた点(●)が並ぶ模様を回転させた場合は、メダカには、ゴミが流れているように見えることが予測できます。そのため、メダカは流されないように、模様の回転の向きとは逆の向きに泳ぐと考えられます。この問題では、①理由を正しく説明しているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問6 **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、根拠に基づき正しく判断する力が求められます。

水そうに時計回りの水の流れを作ったとき、【実験1】では、メダカが反時計回りに泳ぎ始めました。しかし、【実験3】では、時計回りの水の流れを作った後に装置Aを時計回りに回転させると、メダカは時計回りに泳ぎ始めました。つまり、メダカは体で感じる水の流れよりも視覚を頼りに泳ぐ方向を決めると言えます。

問7 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、対象を比較する力が求められます。明るくする時間が同じで、水温の条件が異なっている組み合わせを選びます。よって、実験①と④、または選択肢にない実験①と⑥となります。

問8 **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、対象を比較する力が求められます。水温は同じで、明るくする時間が異なっている組み合わせを選びます。よって、実験①と⑤となります。

小学5年 適性検査B — 解答と解説

1

(1)①

【例】（黒、白、黒、黒、白）の5枚がくり返されている。

21

(1)②

答え	白の正方形	17	枚
	黒の正方形	27	枚

(完答) 22

式や考え方

【例】 くり返される5枚には、白が2枚、黒が3枚ある。
 $44 \div 5 = 8$ あまり4より、8回くり返され4枚あまる。
 $2 \times 8 + 1 = 17$ (枚) … 白の正方形
 $3 \times 8 + 3 = 27$ (枚) … 黒の正方形

23

(2)

①	白の正方形	18	枚	黒の正方形	18	枚	②	9	番目の図形
---	-------	----	---	-------	----	---	---	---	-------

(完答) 24

25

(3)

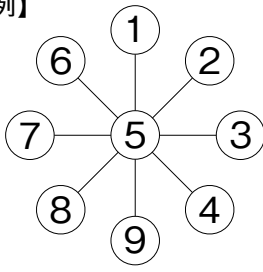
①	13	面	②	25	面
---	----	---	---	----	---

26 27

2

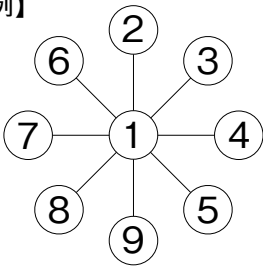
(1)

【例】



(2)

【例】



28

29

(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
45	15	15	60	お 15 か 5

30 31 32 33 34 35

(8)		
【例】		
4	9	2
3	5	7
8	1	6

36

(配点)
 ②(3)、④(5) 答え……各2点
 ①(3)②、②(2)、(8)……各4点
 ①(1)②式や考え方、④(5)理由、(6)……各5点
 他……各3点
 計100点

3

(1)	(2)	(3)	(4)
60 cm	本数 5 本 長さ 30 cm	本数 9 本 長さ 15 cm	5 回
37	38	39	40
			41
			42

4

(1)		
①	長日植物 短日植物	② 長日植物 短日植物
	43	44

(2)	(3)	(4)
①	工	工
46	47	48

(5)	
答え	長日植物 短日植物
	49

理由	【例】実験の結果から、植物Aは暗期が連続して14時間以上あるときに花芽をつくる。これは1日の昼の長さが12時間より短くなると花芽をつくる、図1の①にあたるので、短日植物と考えられる。

50

(6)	
【例】実験2の結果から、葉で光を感知することがわかる。このとき、葉の一部だけであっても光を感知できると考えられる。	

51

【解 説】

① 図形に関する問題

(1) **B1** この問題では、^{じょうほう}情報を正しく読み取る力、^{とくちょうなぶぶん}特徴的な部分に着目する力、自分の考^{ひょうげん}えを表現する力が求められます。

- ① 問題の図1から、(黒、白、黒、黒、白)の5枚^{まい}の正方形がくり返されていることがわかります。この問題では、①^{きそくてき}規則的な変化を正しくとらえることができているかどうか、②①に過不足がなく、^{ひょうげん}表現や表記に誤^{あやま}りがないかどうかを中心に見ています。
- ② くり返される5枚には白の正方形が2枚、黒の正方形が3枚あります。この点に着目して考えます。

$44 \div 5 = 8$ あまり4より、(黒、白、黒、黒、白)の5枚が8回くり返され、あまりの4枚は(黒、白、黒、黒)の4枚であることがわかります。

白の正方形は、 $2 \times 8 + 1 = 17$ より、17枚です。

黒の正方形は、 $3 \times 8 + 3 = 27$ より、27枚です。

この問題では、①白の正方形、黒の正方形の枚数を求めるための正しい式や考え方が書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

(2) **B1** この問題では、^{じょうほう}情報を正しく読み取る力、^{とくちょうなぶぶん}特徴的な部分に着目する力、^{いっばんか}一般化する力が求められます。

- ① 白の正方形と黒の正方形の合計の枚数は、「N番目」のときは $N \times N$ と求めることができます。このとき、1番目は白が1枚、2番目は白が2枚で黒が2枚、3番目は白が5枚で黒が4枚、4番目は白が8枚で黒が8枚、…となっています。すると、「^{ぐうすう}偶数番目」は白と黒の枚数が同じ、「^{きすう}奇数番目」のときは白が1枚多くなっていると考えることができます。このことを表にまとめると次のようになります。

	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	…
全体(枚)	1	4	9	16	25	36	…
白(枚)	1	2	5	8	13	18	…
黒(枚)	0	2	4	8	12	18	…

よって、偶数番目となる6番目は、 $6 \times 6 \div 2 = 18$ より、18枚となります。

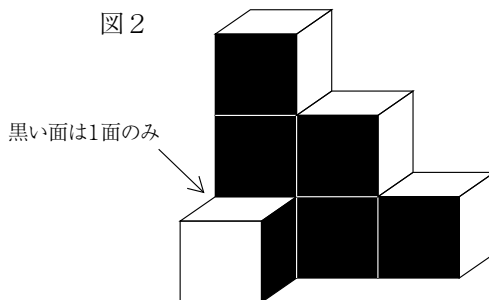
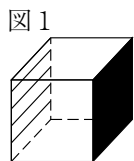
- ② 白の正方形と黒の正方形の枚数が同じではないため、奇数番目とわかります。全体の枚数は $41 + 40 = 81$ より、81枚です。よって、 $81 = 9 \times 9$ より、9番目となります。

(3) **B2** この問題では、^{じょうほう}情報を正しく読み取る力、^{とくちょうなぶぶん}特徴的な部分に着目する力、調べる力、^{こんきよ}根拠^{もと}に基づき正しく^{はんだん}判断をする力が求められます。

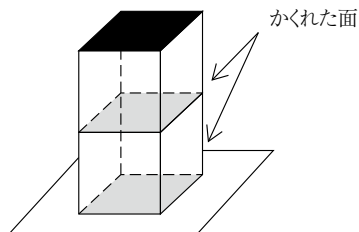
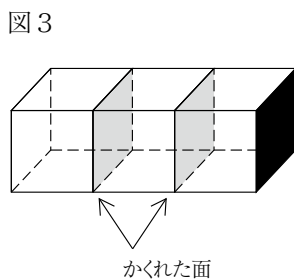
- ① 立方体は、次の図1のように黒い面が向き合うことになります。黒い面ができるだけ多く見えるように積み重ねると、^{おく}奥にある左下の立方体だけは1面しか黒い面が作れませ

ん。それ以外の6個は、たとえば次の図2のように、全て黒い面を2面作ることができます。

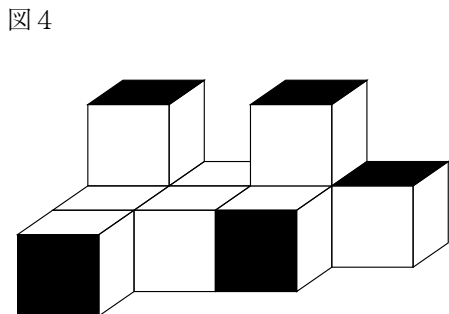
よって、まわりから見える黒い面の数は、 $2 \times 6 + 1 = 13$ より、13面となります。



- ② 白い面ができるだけ多く見えるように積み重ねるには、黒い面を少なくすることになります。たとえば、次の図3のように、両どなりに立方体がある場合は、黒い面をかくことができます。また、ゆかに置いてある立方体の上に、さらに立方体がある場合も同様に黒い面をかくことができます。



よって、たとえば次の図4のように黒い面は5面になります。立方体を10個積み重ねているので、面の数は全部で $6 \times 10 = 60$ (面)です。立方体どうしが重なっている面は、11か所あるので、 $2 \times 11 = 22$ (面)が重なり、床と接している面は8面です。よって、まわりから見える白い面の数は、 $60 - (5 + 22 + 8) = 25$ より、25面となります。



② 数の並びに関する問題

- (1) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、調べる力が求められます。

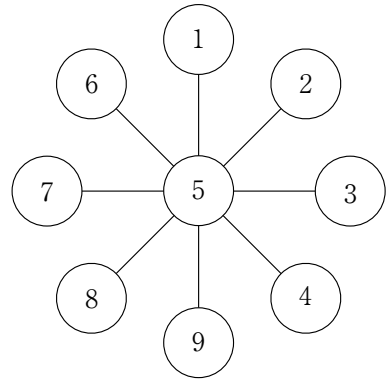
$1+2+3+4+5+6+7+8+9=45$ ……1～9までの数の和

5はすでに使っているので、⑦～⑨の和は、 $45-5=40$ です。

また、⑦～⑨の8つは、2つで1組だから、
全部で $8 \div 2 = 4$ (組)あります。それら1組
の数の和は、 $40 \div 4 = 10$ となります。

そこで、2つの数の和が10になる数の組
み合わせを考えます。

すると、 $(1+9)$ 、 $(2+8)$ 、 $(3+7)$ 、 $(4+6)$
の4組とわかります。よって、たとえば、
右の図のようになります。



- (2) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力、調べる力が求められます。

(1)より、45から「真ん中の数」をひいた残りで2つの数の和を4組作ることに着目します。
この4組のそれぞれの和は全て等しいので、どれも4でわりきれることがわかります。
このとき、「奇数－偶数＝奇数」、「奇数－奇数＝偶数」となることから、「真ん中の数」は
奇数になることもわかります。そこで、「真ん中の数」が5をのぞく1、3、7、9の場合を
調べます。

・ 1の場合 $45-1=44$ 、 $44 \div 4 = 11$ となり、条件に合います。

このとき、4組の数は $(2+9)$ 、 $(3+8)$ 、 $(4+7)$ 、 $(5+6)$ の4組となります。

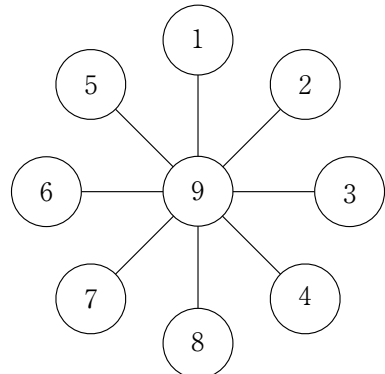
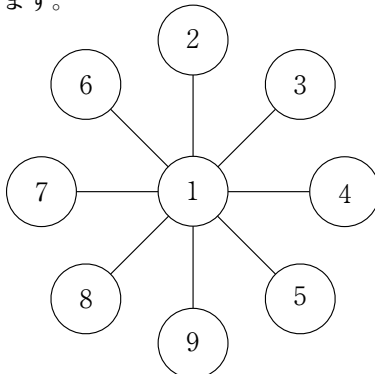
・ 3の場合 $45-3=42$ 、 $42 \div 4 = 10$ あまり2となり、条件に合いません。

・ 7の場合 $45-7=38$ 、 $38 \div 4 = 9$ あまり2となり、条件に合いません。

・ 9の場合 $45-9=36$ 、 $36 \div 4 = 9$ となり、条件に合います。

このとき、4組の数は $(1+8)$ 、 $(2+7)$ 、 $(3+6)$ 、 $(4+5)$ の4組となります。

よって、⑦に入る数は1、9になり、考えられる数の入れ方は、たとえば、次のよう
になります。



- (3) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力が求められます。

$1+2+3+4+5+6+7+8+9=45$ より、45になります。

- (4) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力が求められます。

(3)より、9つの数の和は45となるので、○ 1つの和、○ 1つの和はどれも $45 \div 3 = 15$ になります。

- (5) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力が求められます。

(4)より、たて3つの数の和、横3つの数の和はどれも15になります。同様に、ななめ3つの数の和も15になります。

- (6) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力が求められます。

$$\textcircled{3} + \triangle + \textcircled{7} = 15$$

$$\textcircled{4} + \triangle + \textcircled{6} = 15$$

$$\textcircled{2} + \triangle + \textcircled{8} = 15$$

$$\textcircled{5} + \triangle + \textcircled{9} = 15$$

となります。

$$\textcircled{3} + \triangle + \textcircled{7} + \textcircled{4} + \triangle + \textcircled{6} + \textcircled{2} + \triangle + \textcircled{8} + \textcircled{5} + \triangle + \textcircled{9}$$

$$= 15 \times 4$$

$$= 60$$

よって、60となります。

- (7) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力が求められます。

$$\boxed{\text{え}} = 60, \boxed{\text{あ}} = 45 \text{です。}$$

よって、 $\boxed{\text{え}} - \boxed{\text{あ}}$ は、 $60 - 45$ となるので、 $\boxed{\text{お}} = 15$ です。また、 $15 \div 3 = 5$ となるので、 $\boxed{\text{か}} = 5$ です。

- (8) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力、調べる力が求められます。

(7)より、 $\triangle = 5$ です。残りの $\textcircled{3} \sim \textcircled{9}$ に入る数について、ここでは、9が入るマスに着目します。9が「 $\textcircled{3} \cdot \textcircled{5} \cdot \textcircled{7} \cdot \textcircled{9}$ 」に入る場合と「 $\textcircled{4} \cdot \textcircled{6} \cdot \textcircled{8} \cdot \textcircled{9}$ 」に入る場合は、回転させたりうら返したりすればそれぞれ同じになるので、9が $\textcircled{3}$ 、 $\textcircled{4}$ のどちらに入るかを考えます。

㊦	㊧	㊨
㊩	5	㊪
㊫	㊬	㊭

㊦	㊧	㊨
㊩	5	㊪
㊫	㊬	㊭

- ・ ㊦=9の場合
㊭は、 $15-9-5=1$ です。また、15を「9をふくみ5と1をふくまない異なる3つの数の和」で表すと、 $2+4+9=15$ となるので、㊨は2か4のどちらかになります(図A)。しかし、 $㊨+㊪+1=15$ となることから、㊪は $15-1-2=12$ または $15-1-4=10$ となってしまいます。よって、この場合は考えられません。
- ・ ㊧=9の場合
㊬は、 $15-9-5=1$ です。また、 $2+4+9=15$ より、㊦=4、㊨=2または、㊦=2、㊨=4となります。このとき、左右を入れかえても同じなので、ここでは㊦=4、㊨=2とします(図B)。すると、たて、横、ななめに並ぶ3つの数の和がすべて15になるので、図Cのように残りの数を入れることができます。よって、㊧=9となります。
図Cを上下に入れかえたり、回転させたり、うら返したりしても正しいものとなります。ちなみに、9と5以外の数について㊦と㊧のどちらに入るかを考えても、図Cと同じものを導き出すことができます。

図A

9		2か4
	5	㊪
		1

図B

4	9	2
	5	
	1	

図C

4	9	2
3	5	7
8	1	6

③ 規則的な変化に関する問題

- (1) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力が求められます。

折り曲げる回数、切った糸の本数、できる糸の本数、短い糸の長さ、最も長い糸の長さの関係を調べて、次の表のように整理します。

折り曲げる回数(回)	0	1	2	3	4	5	...
切った糸の本数(本)	1	2	4	8	16	32	...
できる糸の本数(本)	2	3	5	9	17	33	...
短い糸の長さ(cm)	60	30	15	7.5	3.75	1.875	...
最も長い糸の長さ(cm)	60	60	30	15	7.5	3.75	...

「切った糸の本数」は、 $1, 2(=1 \times 2), 4(=2 \times 2), 8(=4 \times 2), 16(=8 \times 2), \dots$ のように、前の数の2倍になっていることがわかります。また、「できる糸の本数」は、切った糸の本数より1大きくなっていることがわかります。さらに、「短い糸の長さ」は、 $60, 60 \div 2 = 30, 30 \div 2 = 15, 15 \div 2 = 7.5, 7.5 \div 2 = 3.75, \dots$ のように、前の数の半分になっていることがわかります。折り曲げる回数が0回のとき以外は、「最も長い糸の長さ」は、「短い糸の長さ」の2倍になってます。これらの点に着目しながら考えます。

問題の図2では、糸を折り曲げる回数が1回です。切った糸の本数は2本、できる糸の本数は $2+1=3$ (本)です。よって、最も長い糸の長さは、 $120 \div 2 \div 2 \times 2 = 60$ (cm)となります。

- (2) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、特徴的な部分に着目する力、一般化する力が求められます。

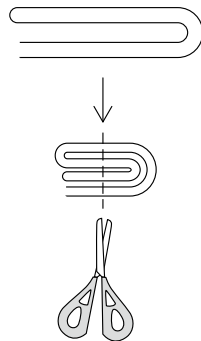
問題の図3では、糸を折り曲げる回数が2回です。切った糸の本数は $2 \times 2 = 4$ (本)、できる糸の本数は $4 + 1 = 5$ (本)です。よって、最も長い糸の長さは、 $120 \div 2 \div 2 \div 2 \times 2 = 30$ (cm)となります。

- (3) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、特徴的な部分に着目する力、一般化する力が求められます。

糸を折り曲げる回数は3回です。切った糸の本数は $4 \times 2 = 8$ (本)、
できる糸の本数は $8 + 1 = 9$ (本)です。よって、最も長い糸の長さは、
 $120 \div 2 \div 2 \div 2 \div 2 \times 2 = 15$ (cm)となります。

- (4) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、特徴的な部分に着目する力、一般化する力が求められます。

上の表より、最も長い糸の長さが3.75cmのとき、糸を折り曲げた回数は5回となります。



④ 植物の花芽形成に関する問題

- (1) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力が求められます。
 冬至(12月22日ごろ)から夏至(6月21日ごろ)にかけては、1日の昼の長さが長くなっていくので、この間に花がさくアブラナは長日植物です。一方、夏至から冬至にかけては、1日の昼の長さが短くなっていくので、この間に花がさくアサガオとコスモスは短日植物です。
- (2) **B1** この問題では、情報を正しく読み取る力が求められます。
 短日植物とは、1日の昼の長さが短くなると花芽をつくる植物です。したがって、1日の昼の長さが12時間より短くなったとき、ほぼ100%の割合で花芽をつくっている④が短日植物となります。
- (3) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、根拠に基づき正しく判断する力が求められます。
 ア：「部屋え」では1日の明期の長さの合計が8時間をこえているのに花芽をつくっていません。また、「部屋き」では1日の明期の長さの合計が8時間であるのに花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 イ：「部屋き」では1日の暗期の長さの合計が16時間であるのに花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 ウ：連続した明期が16時間である「部屋あ」で花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 エ：連続した暗期が14時間以上である「部屋い」「部屋え」「部屋お」の全てで花芽がつくられているので、正しいと言えます。
- (4) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、根拠に基づき正しく判断する力が求められます。
 ア：「部屋い」「部屋え」「部屋お」では1日の明期の長さの合計が8時間以上であるのに花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 イ：「部屋い」「部屋え」「部屋お」では1日の暗期の長さの合計が14時間以上であるのに花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 ウ：「部屋あ」では連続した明期が16時間であるのに花芽をつくっています。また、「部屋い」「部屋え」「部屋お」では連続した明期が8時間であるのに花芽をつくっていません。よって、正しいとは言えません。
 エ：連続した暗期が10時間以下の「部屋あ」「部屋う」「部屋か」「部屋き」の全てで花芽がつくられているので、正しいと言えます。
- (5) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、読み取った情報を活用する力、情報どうしを関連づける力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

実験1の結果から、植物Aは暗期が連続して14時間以上あるときに花芽をつくります。これは、1日の昼の長さが12時間より短くなると花芽をつくる、図1の①の場合にあたるので、植物Aは短日植物であると言えます。この問題では、①植物Aが短日植物である理由を正しく説明しているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (6) **B2** この問題では、情報を正しく読み取る力、情報を分析する力、対象を比較する力、自分の考えを筋道立てて表現する力が求められます。

葉のすべてに黒い布をかぶせた「条件B」では花芽をつくらず、^め茎の先端だけに黒い布をかぶせた「条件A」、葉の半分だけに黒い布をかぶせた「条件C」では花芽をつくっています。^{くき} ^{せんたん}

よって、植物Cは葉の部分で光を感知していて、しかも葉の一部だけであってもよいことがわかります。この問題では、①植物Cが光を感知することについて正しく説明しているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

小学五年
適性検査C
—— 解答と解説

1

問一
I
とにかくなんでも読んでみる
II
知識の基本量

問二	
知	読んでいない分野があまりにも多いと、知識としてバランスが崩れて、
ら	
ず	
知	
ら	
ず	
の	
う	
ち	
に	
も	知識としてバランスが崩れて、
の	知識としてバランスが崩れて、
見	知識としてバランスが崩れて、
方	知識としてバランスが崩れて、
も	知識としてバランスが崩れて、
偏	知識としてバランスが崩れて、
っ	知識としてバランスが崩れて、
た	知識としてバランスが崩れて、
も	知識としてバランスが崩れて、
の	知識としてバランスが崩れて、
に	知識としてバランスが崩れて、
なり	知識としてバランスが崩れて、
や	知識としてバランスが崩れて、
す	知識としてバランスが崩れて、
い	知識としてバランスが崩れて、

問三		
Ⅱ		I
が	最	じ
つ	初	っ
い	読	く
た	ん	り
り	だ	読
す	と	ん
る	き	で
	に	み
	は	る
	気	
	が	
	つ	
	か	
	な	
	か	
	っ	
	た	
	こ	
	と	
に		
ハ		
ッ		
と		
気		

問四
単
なる
子
ど

問五									
物語の本を多く読みたいと思う。	自分の想像力のはばを広げていくために、これから	を理解することにつながるのではないかと思う。	このような読み方は想像力をかきたて、より深く作品	だ。	験できないようなことでも体験した気分を味わえるから	ら、本を読んで登場人物になりきることで、現実では体	持ちになりきって読んでいることが多いと思う。	りて読むことが多い。物語を読む時に私は、主人公の気	私は物語が好きで、図書室で気に入った物語の本を借

250

200

100

25

2

問四 (2)							
な	な	害	多		よ	で	
い	く	が	い	私	う	き	私
。	な	あ	。	た	に	る	は
そ	り	る	化	ち	す	だ	、
う	、	と	学	が	る	け	人
な	や	い	物	口	べ	環	間
っ	が	う	質	に	き	境	が
て	て	。	使	す	だ	や	使
か	は	化	用	農	と	そ	う
ら	私	学	し	作	思	こ	化
で	た	物	た	物	う	に	学
は	ち	質	農	は	。	住	物
お	間	使	薬	農		む	質
そ	も	い	は	薬		生	の
い	住	す	量	が		物	量
と	め	ぎ	が	使		に	を
思	な	れ	多	わ		悪	な
う	く	ば	け	れ		影	る
か	な	、	れ	い		響	べ
ら	る	生	ば	る		を	く
だ	か	物	人	こ		あ	少
。	も	間	と	が		た	な
	し	に	と			え	く
	住	も				な	し
	め					い	て

200

175

100

25

問四 (1)						
の	と	出	っ	コ	ホ	
い	た	て	っ	ン	ル	
ろ	い	く	い	ト	モン	
い	へ	る	て	ロ	ンは	
ろ	ん	。	い	ール	、	
な	似	環	る	「	する	
部	た	境	「	副	物	
分	は	ホ	じ	質	の	
の	た	ル	モン	」	こ	
は	ら	モン	は	と	と	
た	き	し	体	う	で	
ら	を	て	の	器	、	
き	し	な	官	人	間	
を	ま	か	や	で	は	
か	う	に	脳	下	、	
き	物	入	垂	体	じ	
乱	質	る	体	な	ん	
し	の	と	ホ	ど	臓	
て	こ	と	ル	か	に	
し	と	で	モ	ら	く	
ま	で					
う	、					
。	体					
	ン					

150

125

100

25

問三
ア

問二
ウ

問一	
Ⅱ	Ⅰ
はじめ	はじめ
「	さ
生	ま
態	ぎ
系	ま
」	な
終わり	終わり
ば	起
な	き
ら	て
ない	い
い	る

(配点)

- | | | | |
|---|------|-----------------|---------|
| ① | 〔問一〕 | 5点×2 | } 計100点 |
| | 〔問二〕 | 8点 | |
| | 〔問三〕 | 5点×2 | |
| | 〔問四〕 | 4点 | |
| | 〔問五〕 | 18点 | |
| ② | 〔問一〕 | 4点×2 | } |
| | 〔問二〕 | 4点 | |
| | 〔問三〕 | 4点 | |
| | 〔問四〕 | (1) 14点 (2) 20点 | |

【解説】

1

問一 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

I にあてはまるのは濫読とはどのような読み方かという内容です。——線部①のすぐ後に、「とにかくなんでも読んでみる」と書かれているので、その部分があてはまります。十三字という字数指定があるので、それに合わせて抜き出す部分を探すといいでしよう。

II には、濫読によって増やすことができるものがあてはまります。筆者は、「読書の基本的な役割のひとつに、知識を仕入れるということがあります」と言っています。その知識の量を濫読によって増やすことができると考えています。六字という字数指定に合うように探すと「知識の基本量」と「知識の絶対量」という二つの言葉が見つかります。どちらもほぼ同じ意味なので、どちらを答えても正解となります。

問二 **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

——線部②「若いうちに濫読を経験していないとどうなるか」ということについては、この部分より後に書かれています。ただし、書かれている内容を二十五字以上三十五字以内という字数指定に収めるには不要な語句を省き、重要な語句にしぼってまとめることとなります。「読んでいない分野があまりにも多すぎるんです。」と書かれた部分より後の、「それではやはり知識としてバランスが崩れてしまいます。そうすると、知らず知らずのうちにものの見方も偏ったものになりがち。」というと

ころをまとめます。「知識のバランスが崩れる」「ものの見方が偏る」という二つの重要な内容を入れるようにしてまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 知識のバランスが崩れるという内容が書かれているか
- ② ものの見方が偏るという内容が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

筆者は、濫読をやめた後について「次に何をやるべきか。今度はじっくり読みましょう。」と言っています。**I** には「読み方」という語句につながる九字の部分が入るので、「じっくり読んでみる」という部分があてはまります。

II にはじっくり読むことでどのようなことがあるか、という内容があてはまります。じっくり読むことでどうなるのか、と考えるながら探していくと、「最初読んだときには気がつかなかったことにハッと気がついたりする」という部分が最もふさわしいと考えられます。三十一字という字数を手がかりにすると探しやすいとなります。

問四 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部④の後に子どもの頃に『星の王子さま』を読んで感じたことと、大人になってから読んだ時に感じたことの違いが書かれています。「単なる子ども向けのお話が、大人が読んですぐ考えさせられる本に変わる」という部分が変化の内容を

表した言葉としてふさわしいと考えられますから、この部分のはじめの五字を書き抜いて答えましょう。

問五 **C1** この問題では、知識を正しく活用する力、新たな

アイデアを創造する力、表現する力が求められます。

本を読むときに、どのような読み方をする人が多いかを理由とともに自分の言葉で説明する問題です。文章の筆者は、まず、「濫読」から始めて知識の絶対量を増やし、後にじっくり読むことで違ったものの見かたを身につけることができる、と述べています。こういった本の読み方以外にも、物語であれば場面を想像しながら楽しむ読み方など、人それぞれの読み方があります。自分の今までの読書体験を思い出しながら書いてみるとよいでしょう。

書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、書くべきことを短く箇条書きにメモして、それをもとにして書くなどの工夫しておくことと作文が書きやすくなります。※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 自分がすることが多い本の読み方について書かれているか
- ② ①に対する理由が書かれているか
- ③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 字数制限が守られているか
- ⑥ 表記や表現が正しいか

2

問一 **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力が求められます。

I の前に書かれているのは環境汚染の種類です。それらの汚染がどのような複雑なことを引き起こすかを説明した部分を探します。同じ段落の最後の部分に「さまざまな汚染はからみ合って起きている」という部分があり、この部分があてはまると考えられます。十九字という字数指定があるので、それに合わせて抜き出す部分を探すとよいでしょう。

II のすぐ後には、「にもかかわらず」という語句があります。これは前の内容とは反対の内容を後につなぐ働きがあります。「生態系の全てがわかつているわけではない」と反対の内容になるのは『生態系』の全体を考えなければならぬ」という部分で、これがあてはまると考えられます。生態系の全体を考えなければならぬのに、生態系の全てがわかつているわけではない（から複雑だ）、というつながりに注意しましょう。

問二 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部②「ただ、ひとついえることがある」ということについては、この部分より後に書かれています。選択肢を本文とよく見くらべて最もふさわしいものを選びます。

アは「いったん汚染がダメージになる」という部分が、「部分的になにか汚染が起きてても私たち人類であるということだ」という部分と合わないため正しくありません。

イは「どんなダメージも回復される」という部分が、「この自然の浄化の力をこえた汚染を引き起こし私たち人類であ

るということだ」という部分と合わないため正しくありません。

ウは「人類は、生態系の浄化の力く汚染を引き起こしている」という部分と、「この自然の浄化の力をこえた汚染を引き起こし私たち人類であるということだ」という部分がほぼ同じ内容なので正解となります。

問三 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部③の場合の汚染物質と汚染がそれぞれ何であるのかを正しく読み取っているかを問う問題です。選択肢を本文とよく見くらべて最もふさわしいものを選びます。

汚染物質にあたるのは、本文に「衣服の汚れや食べ残しなど」とありますが、「排水にふくまれる窒素やリン」もアオコの大発生を引き起こすので、これも汚染物質といえます。アオコ自体が汚染物質ではないので、イは正しくありません。また、汚染は「アオコを増やす」ことで河川の生態系のバランスをこわし、汚染を引き起こしてしまうのだ」とあることから、アオコ自体は汚染物質ではなく、アオコの大発生が生態系のバランスをこわすことが汚染だと考えられます。家庭の排水が流れこむだけでは汚染とはいえないので、ウは正しくありません。したがって正解はアとなります。

問四 **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

環境ホルモンが人間の体の中でどのような働きをするかについては、「ホルモンというのはくというのだ」という部分で説明されています。ただし、問題の【きまり】に「人間の体内で

はたらく『ホルモン』と『環境ホルモン』のちがいを必ず入れて説明します」とあるので、「ホルモンは」「環境ホルモンは」などと分けて書くとういでしょう。説明に必要な語句かどうかを考えて、 unnecessary 語句を省き必要な語句を入れて、字数の範囲に合わせて書くようにします。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① ホルモンの働きについて説明されているか
- ② 環境ホルモンの働きについて説明されているか
- ③ 表記や表現が正しいか

(2) **C2** この問題では、知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造する力、表現する力が求められます。

この文章には、人間がつくり出した化学物質が汚染物質となつて生物や生態系に影響を及ぼす可能性について書かれている部分があります。自分たちの生活に欠かせないものとなつた化学物質を使うことについて、あなたが考えることを書いてみましょう。また、意見にはたいい理由があります。その理由を意見とともに考える習慣をつけていきましょう。

書き始める前に、書くべきことを短く箇条書きにメモして、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、それをもとにして書いたりするなどの工夫もしておくとして作文が書きやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 化学物質を使うことについての自分の意見が書かれているか
- ② ①に対する理由が書かれているか
- ③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明で

あるか

- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 字数制限が守られているか
- ⑥ 表記や表現が正しいか

※ただし、①・②が自分で考えた意見などではなく、文章に書かれたものと明らかに類似している場合、③・⑥は採点の対象としません。

小学五年

適性検査D

解答と解説

1

問一
I
とにかくなんでも読んでみる
II
知識の基本量

問二
知らず知らずのうちに、知識として偏ったものが崩れて、
読んでいない分野があまりにも多いと、知識の見方も
バランスが崩れて、
なりやすい。

問三
I
じつ
読んでみる
II
が最初読んだときには気がつか
なかったことにハッと気
がつ
な
か
つ
た
こ
と
に
ハ
ッ
と
気

問四
単なる子ども

問五
物語の本を多く読みたいと思う。
自分の想像力のはばを広げていくために、これからも
を理解することにつながるのではな
い
か
と
思
う
。
こ
の
よ
う
な
読
み
方
は
想
像
力
を
か
き
た
て
、
よ
り
深
く
作
品
だ
。
験
で
き
な
い
よ
う
な
こ
と
で
も
体
験
し
た
気
分
を
味
わ
え
る
か
ら
、
本
を
読
ん
で
登
場
人
物
に
な
り
き
る
こ
と
で
、
現
実
で
は
体
持
ち
に
な
り
き
つ
て
読
ん
で
読
ん
で
い
る
こ
と
が
多
い
。
物
語
を
読
む
こ
と
が
多
い
。
私
は
物
語
が
好
き
で
、
図
書
室
で
気
に
入
っ
た
物
語
の
本
を
借

250

200

100

25

2

問三 (2)												問三 (1)											
る	地	せ	た	住	そ		考	バ	小	こ		ま	と	か	し	持	進						
こ	球	な	ち	む	れ	過	え	ラ	さ	と	私	う	き	し	て	っ	化						
と	の	く	の	場	は	に	方	ン	い	が	は	と	に	、	も	て	の						
は	一	な	周	所	、	も	が	ス	虫	な	今	考	は	生	一	い	枝						
当	員	る	り	を	人	多	少	を	も	か	ま	え	大	部	る	の	分						
然	と	か	か	う	間	く	し	保	他	っ	で	る	き	は	で	、	に						
の	し	も	ら	ば	が	の	変	っ	の	た	、	。繁	様	延	生	よ	っ						
こ	生	れ	生	つ	自	生	わ	て	動	。日	人	栄	で	び	物	て	て						
と	き	ず	物	り	分	物	た	の	物	常	間	す	ない	次	多	生	物						
で	て	、	が	し	た	が	。絶	だ	の	生	以	が	と	の	様	物	は						
は	い	る	困	え	の	減		思	さ	外	の	環	き	世	あ	少	し						
い	の	の	い	か	合	し		う	と	の	生	境	は	を	る	ず	つ						
か	だ	は	け	と	で	と		と	、	中	物	が	そ	つ	と	ち	が						
と	ら	私	ば	い	生	聞		、	そ	で	の	変	の	く	、	う	設						
。生	生	。人	や	。そ	を	いた		苦	れ	気	生	わ	種	続	環	境	計						
物	物	間	て	人	大	こと		手	が	に	物	る	に	け	境	が	図						
多	様	も	人	類	結	に		な	生	め	多	と	適	ら	。変	化	を						
様	性	を	こ	も	果	、		虫	物	な	様	絶	した	れ									
守	の		ら	私	り	。考		対	の	な	た	し	の	し									

300	275	200	100	25	150	125	100	25
-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

問二	問一
ア	Ⅱ
ウ	Ⅰ
	はじめ
	おた
	が
	い
	さ
	終わり
	終わり
	生
	き
	て
	い
	つ
	た

- (配点)
- ① (問一) 5点×2

(問二) 8点

(問三) 5点×2

(問四) 4点

(問五) 18点

② (問一) 4点×2

(問二) 4点×2

(問三) (1) 14点 (2) 20点
- 計100点

【解説】

1

問一 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

I にあてはまるのは濫読とはどのような読み方かという内容です。——線部①のすぐ後に、「とにかくなんでも読んでみる」と書かれているので、その部分があてはまります。十三字という字数指定があるので、それに合わせて抜き出す部分を探すといいでしょう。

II には、濫読によって増やすことができるものがあてはまります。筆者は、「読書の基本的な役割のひとつに、知識を仕入れるということがあります」と言っています。その知識の量を濫読によって増やすことができると考えています。六字という字数指定に合うように探すと「知識の基本量」と「知識の絶対量」という二つの言葉が見つかります。どちらもほぼ同じ意味なので、どちらを答えても正解となります。

問二 **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

——線部②「若いうちに濫読を経験していないとどうなるか」ということについては、この部分より後に書かれています。ただし、書かれている内容を二十五字以上三十五字以内という字数指定に収めるには不要な語句を省き、重要な語句にしぼってまとめることとなります。「読んでいない分野があまりにも多すぎるんです。」と書かれた部分より後の、「それではやはり知識としてバランスが崩れてしまいます。そうすると、知らず知らずのうちにものの見方も偏ったものになります。」という

ころをまとめます。「知識のバランスが崩れる」「ものの見方が偏る」という二つの重要な内容を入れるようにしてまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 知識のバランスが崩れるという内容が書かれているか
- ② ものの見方が偏るという内容が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

筆者は、濫読をやめた後について「次に何をやるべきか。今度はじっくり読みましょう。」と言っています。**I** には「読み方」という語句につながる九字の部分が入るので、「じっくり読んでみる」という部分があてはまります。

II にはじっくり読むことでどのようなことがあるか、という内容があてはまります。じっくり読むことでどうなるのか、と考えるながら探していくと、「最初読んだときには気がつかなかったことにハッと気がついたりする」という部分が最もふさわしいと考えられます。三十一字という字数を手がかりにすると探しやすいです。

問四 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部④の後に子どもの頃に『星の王子さま』を読んで感じたことと、大人になってから読んだ時に感じたことの違いが書かれています。「単なる子ども向けのお話が、大人が読んですぐ考えさせられる本に変わる」という部分が変化の内容を

表した言葉としてふさわしいと考えられますから、この部分のはじめの五字を書き抜いて答えましょう。

問五 C1 この問題では、知識を正しく活用する力、新たな

アイデアを創造する力、表現する力が求められます。

本を読むときに、どのような読み方をする人が多いかを理由とともに自分の言葉で説明する問題です。文章の筆者は、まず、「濫読」から始めて知識の絶対量を増やし、後にじっくり読むことで違ったものの見かたを身につけることができる、と述べています。こういった本の読み方以外にも、物語であれば場面を想像しながら楽しむ読み方など、人それぞれの読み方があります。自分の今までの読書体験を思い出しながら書いてみるとよいでしょう。

書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、書くべきことを短く箇条書きにメモして、それをもとにして書くなどの工夫しておくとか作文が書きやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 自分がすることが多い本の読み方について書かれているか
- ② ①に対する理由が書かれているか
- ③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明で

あるか

- ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑤ 字数制限が守られているか
- ⑥ 表記や表現が正しいか

2

問一 **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力が求められます。

生物多様性の意味は、端的には——線部①を含む一文の最初に「『生物の種類がさまざま（多様）であること』と説明があります。これを踏まえて設問の説明を見てみます。すると、生物の種類が多様になった原因をとらえていく問題になっていることが、**I**の後の「原因」や**II**の直後の「ので」という言葉からわかります。生物多様性の意味のくわしい説明は——線部①を含む段落に書かれています。あとはそれぞれ空欄の前後の言葉や字数制限を手がかりにして探すことができたか振り返ってみましょう。

問二 **B1** この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部②「なぜ、『多様性』を守る必要性があるのだろう」ということについては、この部分より後の段落に書かれています。その内容に合うものを選びます。

アは「人間が自然から得てきた恵みが減ってしまい、都合が悪いから」という部分が、本文中の「生物多様性が失われることによって、その資源がとぼしくなつては困る」という部分と同じだと考えられるので正解です。

イは「文明は生物多様性を守るために人間がつくり出したもの」という部分が、「人類が生み出してきた文明は、この生物多様性に支えられてきた」という部分とは書かれている内容が異なるので不正解となります。

ウは「文明は生物多様性があつたからこそ発達してきた」

という部分が、「人類が生み出してきた文明は、この生物多様性に支えられてきた」という部分と同じだと考えられるので正解です。

エは「ほかの生物が生きる権利を認めない人に考えを改めてもらおうと思っている」という内容が文章中に書かれていないので不正解となります。

問三 (1) **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

生物が「多様であることが、生命の環境変化に対する『生き残り』の可能性を高めているということ」についての筆者の考えは、——線部③の直後に書かれています。【きまり】には「生物が『多様であるとき』と『生物が多様でないとき』のちがいを必ず入れて説明します」と書かれているので、この二つの内容に分けて書くといでしょう。重要なのは、「生物が多様であれば、環境が変化しても一部が生き延びることができる」ということです。その点を必ず書くようにしましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「生物が多様であるとき」について説明されているか
- ② 「生物が多様でないとき」について説明されているか
- ③ 表記や表現が正しいか

(2) **C2** この問題では、知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造する力、表現する力が求められます。

この文章には、生物多様性が保たれることによって地球の生態系が守られてきたこと、人類による開発が進んで生物多

様性が失われるとやがては文明が滅びることも考えられることなどが書かれています。そうしたことをもとにして、生物多様性を守ることについてあなた自身が考えることを書いてみましょう。また、意見にはたいいてい理由があります。その理由を意見とともに考える習慣をつけていきましょう。

書き始める前に、書くべきことを短く箇条書きにメモして、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、それをもとにして書いたりするなどの工夫もしておくとう作文が書きやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

① 生物多様性を守ることについての自分の意見が書かれているか

② ①に対する理由が書かれているか

③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか

④ 答案用紙の使い方が正しいか

⑤ 字数制限が守られているか

⑥ 表記や表現が正しいか

※ただし、①・②が自分で考えた意見などではなく、文章に書かれたものと明らかに類似している場合、③～⑥は採点の対象としません。